

読書のまち三郷だより

No.33
平成24年
11月
三郷市教育委員会

全国読書週間・10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）の真っ最中です。今年のテーマは「ホントノキズナ」です。三郷市のどの小中学校も秋の読書月間を設け、いろいろ工夫をした取り組みを行っています。この読書月間に家庭では、さらに「うちどく」を進めましょう。

読書で育む家族の絆 日本一の「読書のまち三郷」づくり
全国うちどくサミットは12月1日(土)!



開場 8:50	オープニング 9:10	開会 行事	9:45 読書活動発表	休 憩	11:00 基調講演	閉会 行事
	高州東小児童による家読テーマソング合唱	家読ゆうびん表彰	<ul style="list-style-type: none"> 早稲田小学校の児童による活動発表 前間小学校読書ボランティアによる発表 ひかり幼稚園の園児による発表 戸ヶ崎小学校・瑞穂中学校による家読発表 		講師 ノンフィクション作家 柳田邦男氏	全国うちどくサミット共同宣言

会場は三郷市文化会館大ホールです。事前申し込みは入りません。全国関係自治体の読書活動展示を行います。また、三郷市内各小中学校の読書活動紹介のパネル・児童生徒の作品や学校図書館の掲示物、市内の高校の学校図書館の掲示物なども展示致します。併せてご覧下さい。

子ども司書推進全国研究大会は11月30日(金) 会場は三郷市文化会館小ホール

開場 2:00	開会 行事	2:40 基調講演	3:30 取組発表	4:05 シンポジウム	閉会 行事 5:00
	2:30	元木 幸市氏 「被災地で本が繋がぐもの」 ～女川町図書室復興の取り組み～	三郷市子ども司書の発表	八街市・矢祭町・小山市 柏市・三郷市が参加	

* 読書のまち三郷の子ども司書・13名誕生 *

6月から10回にわたって行われた「子ども司書養成講座」が終了。閉講式が11月1日に市役所でありました。教育長から認定証をうけとり、「13名の子ども司書」が誕生しました。

子ども達一人一人が受講の感想とこれからの抱負を述べました。しっかり学習したことやらほっとのお話会での体験に裏付けられた自信で、みんなきらきら輝いていました。今後の活動が楽しみです。



これが認定証第1号!

笑顔で読み聞かせをする難しさを知った。これから、どんな時も笑顔で取り組めるようにがんばりたい。

本のすばらしさを学んだ。読書の輪をみんなに広げていきたい。

* ららほっとでお話会 *

10/20のお話会は紙芝居ボランティアサークルの「赤とんぼ」でした。紙芝居という舞台に子ども達も楽しんでいるように楽しんでいました。

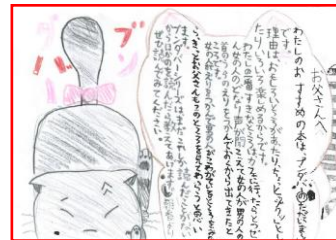


今回は 12月15日(土)
新和小ボランティア「おひさま」

うちどく推進で家族の絆を培おう! 家読ゆうびんコンクール

読書で育む家族の絆をめざして、今年度の読書郵便コンクールは家族で行う「家読ゆうびん」として取り組まれました。部門は3つです。①家族あて部門 ②家族往復部門③家族一緒部門（家族一緒に誰かに出す）今回は家族往復部門を紹介します。

家族往復部門の応募総数3079点中 優秀賞14点 その中の特別賞の市長賞・2点です



娘から父へ

高橋朝香・高橋嘉規
(後谷小4年)『ブンダバーの
たぐいま』ポプラ社



父から娘へ

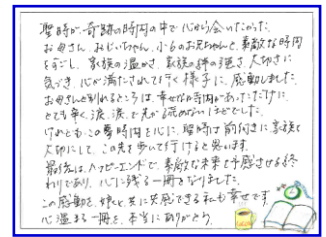
お父さんへ わたしのおすすめの本は「ブンダバーのたぐいま」です。理由は、おもしろいところがあったり、ちょっと「ゾクッ」としたりいろいろ楽しめるからです。わたしの一番好きなどころは、カフェに行ったらとつぜん女の人のどなり声が聞こえて、女の人が男の人の首のうらのえりをつかんで男の人がこわがっているところをみたら、きつとお父さんもこのところを見てわらうと思います。ブンダバーシリーズはまだこれしか読んだことがないから、ほかのを読んだら教えてあげます。ぜひ読んでみてください。朝香より

朝香へ ワーッハッハッハ。おもしろいねえ。ユリアナさんほどなんなさんより強いんだね。ともかの家と同じ、お母さんも強いからな。でも、本当は優しいのだよ。悪さに敵しいのさ。ブンダバーは、船長達とマーメイドちゃんをさがす旅に出て、ドキドキの連続だったね。お父さんもわくわくしながらページをめくったよ。マーメイドちゃんも無事に船にもどれたし、めでたしめでたし…。ブンダバーは人の言葉がしゃべれて、心のあたたかみ人達に見守られて幸せだな。ともか、今度お父さんと冒険に行こう！ 父



娘から母へ

田口成美・田口美幸
(早稲田中3年)『からくり夢
時計』アルファポリス



母から娘へ

主人公 聖時は、ある事をきっかけに12年前にタイムスリップします。その先で出会ったのは、まだ若い父、聖時と同年ぐらいの兄、そして、幼い頃事故で亡くなった母。限られた時間の中で、聖時は彼らとどのように過ごすのでしょうか。この本は 大人も子どもも幅広く楽しみながら読めます。笑える場面あり、泣ける場面あり、とても心温まる素敵な一冊です。ぜひ、読んでみてください。

聖時が、奇跡の時間の中で心から会いたかったお母さん、おじいちゃん、小6のお兄ちゃんと素敵な時間を過ごし、家族の温かさ、家族の絆の強さ、大切さに気づき、心が満たされて行く様子に感動しました。お母さんと別れるところは幸せな時間があったけれど、とても辛く、涙、涙、で先が読めないほどでした。けれども、この夢時間を心に、聖時は前向きに家族を大切に、この先を歩いて行けると信じています。最後は、ハッピーエンドで素敵な未来を予感させる終わりであり、心に残る一冊となりました。この感動を娘と共に共感できる私も幸せです。心温まる一冊を、本当にありがとう。

学校図書館の特設コーナー紹介



ノーベル賞
コーナー
＜新和小＞

新和小では「知ってる?ノーベル賞」と、山中氏のノーベル賞受賞を受けて、早速ノーベル賞のコーナーが特設されました。また、10/23・24にわたって科学読み物研究会の代田さんを講師に「身近な科学を手作りの品々体験しました。科学の本ももちろんよと世界を広げていました。世界一大きいだちょうの卵にもものつてみて、その強さも実感していました。



【児童がダチョウの卵の上に乗っています】

学校公開日にあわせて

10/20 高州小学校では、学校公開日に合わせて、学校図書館で読書活動支援員による読書指導の授業と引き続いて PTA 成人教育の「読書のすすめ」講座が開催されました。

いつもの講座より参加者も多く、読書への関心が高まったようです。

